

第22回団体交流会(住み続けたいまち大阪狭山)グループワークまとめ(2班)

開催日時 令和元年10月26日(金) 13時30分~16時

参加者 浅野、鳥取、伊藤、小川、吉田、木下、荒川、和久、谷上

支援センター ファシリテーター 岡本、針田 (順不同)

住みつ続けたい町にするには

- ・災害に強い街をPR
- ・いろんな団体会議など横のつながりを強くする
- ・各団体の連携、交流会の継続、お互いの理解
- ・顔と名前のわかるネットワークと、顔の見えないつながり
- ・イベントの重なりのないしくみを作っていくとよい
- ・数多くのイベントより一つの大きなイベントをした方がよいのでは

OBの活用

- ・市役所のOBや各企業の定年退職者に対する市民活動参加の呼びかけ
- ・各種活動に市役所職員の積極的参加が必要
- ・住民の特技が生かされる仕組み
- ・市民活動の紹介
- ・防災活動

居場所づくり

- ・居場所づくり 南中円卓はじめ、地域の自治会

交通

- ・市内の公共交通 100円バスは1時間に1回で不便
- ・ショップやレストランが少ない
- ・駅前のco-opがなくなった
- ・交通の便・安全
- ・南海バスの運賃が高いと思います、100円バスで助かっています
- ・三円卓を一つの運動につなげていく方式をつくる

観光

- ・大阪狭山市に観光化を作りましょう
- ・狭山池や暗渠などをもっと皆で活用しましょう
- ・大阪狭山市全体を巻き込んだ地域活性化が必要、南北で全く分断された感じ
- ・大阪狭山市に本当の温泉がある

全般

- ・他団体、他市との交流を積極的にしていく、シェアしていく
 - ・エコ、シェアも 個人所有の家、車、仲間など
 - ・せっかくのいい企画の周知徹底(広報)をNT50周年記念など
 - ・いい情報が届いていない 公民館どんとこいセミナー 介護
- 地域資源マップ ご近所力のアップ 出前勉強会

- ・近代病院、帝塚山学院大、イオンの撤退、それに伴うバス便の減少など、あまりいい話がない、明るい話を見つけなければならない、いい話題を作ろう
- ・商業施設をなくさないように対策を考えよう
- ・みんなが人助けできるスキル、教育を
(防災・子育て・応急手当)

以上